

報告書抄録

ふりがな	みちやしきいせきだい4ちてん							
書名	道屋敷遺跡第4地点							
副書名	宅地造成（中吉田五丁目）に伴う埋蔵文化財調査報告							
巻次								
シリーズ名	北九州市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第615集							
編著者名	安部和城							
編集機関	（公財）北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室							
所在地	〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田一丁目1番3号							
発行年月日	2023年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
みちやしきいせき 道屋敷遺跡 第4地点	ふくおかけんきたきゅうしゅうし 福岡県北九州市 小倉南区中吉田五丁 目1493-5、他	40100		33° 54' 30" .46	130° 56' 36" .55	20200402 ～ 20200512	843.82 m ²	宅地造成 (中吉田五丁目)
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
道屋敷遺跡 第4地点	集落跡	中世	堀 掘立柱建物 土坑 溝 柱穴 包含層	白磁 青磁 青白磁 陶器 瓦器 中世須恵器 土師器 滑石製石鍋		中世期の方形居館		
要約	<p>本遺跡は、北九州市小倉南区中吉田に所在する。中世期の居館を囲障する堀とその内部の掘立柱建物跡が確認された点が大きな成果である。特に堀の堆積土内からは、大量の土師器の坏と小皿が出土しており、中世居館における饗宴の様子が想像される。この他、珍品と思われる輪花形火鉢や奈良火鉢、青白磁梅瓶、古瀬戸おろし皿等、居館的な遺物も出土している。堀の年代については、共伴する陶磁器や雑器類の年代から概ね14世紀代と考えられ、武藤吉田氏との関連が予想される。</p>							